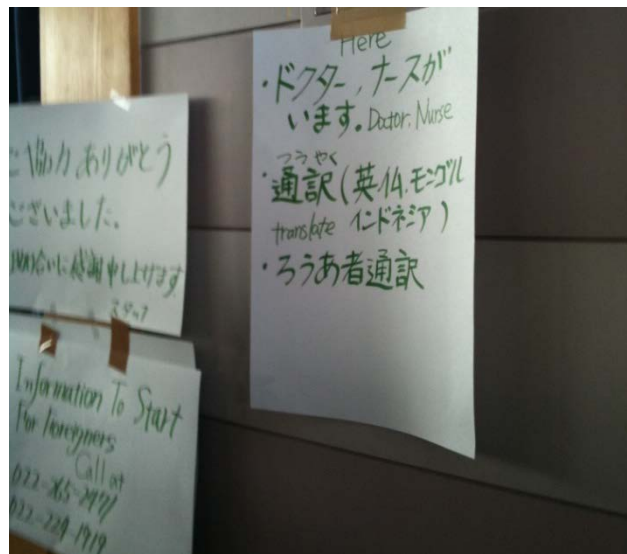


ひがしにほんだいしんさい                      がいこくじん                      じょうほうでんたつしえん                      かだい  
東日本大震災における外国人への情報伝達支援と課題

たぶんかしゃかい                      してん  
— 多文化社会コーディネーターの視点から



きくち あきよし  
菊池 哲佳

たぶんかしゃかい

多文化社会コーディネーター (多文化社会専門職機構 認定)

せんたいかんこうこくさいきょうかい      こくさいかじぎょうぶ      こくさいかすいしんか  
仙台観光国際協会      国際化事業部      国際化推進課

ひがしにほんだいしんさい はっせいちよくご うご  
東日本大震災—発生直後にどう動いたか



せんだい たげんごほうそう  
Date fm (エフエム仙台) での多言語放送

かんけいしゃ れんけい きょうどう  
—関係者との連携・協働

## “GLOBAL TALK”

ねん がつ せんだい  
2005年11月より Date fm (エフエム仙台)

ない まいしゅうだいににちようび ほうそう  
“Sunday Morning Wave”内で、毎週第2日曜日に放送



さいがいたげんごしえん うんえい  
災害多言語支援センターの運営  
ちいきないそしき れんけい  
—地域内組織との連携

- はっさいとうじつ せんだいにくさいこうりゅうきょうかい げんざい せんだいかんこうこくさい  
発災当日より仙台国際交流協会（現在の仙台観光国際  
きょうかい せんだいこくさい きよてん うんえい  
協会）が仙台国際センターを拠点に運営
- せんだいし うんえい かん きょうてい ていけつ ねん がつ  
仙台市と運営に関する協定を締結したのは2010年4月



ちいきぼうさいけいかく

がいこくじん

## 地域防災計画における「外国人」

さいがいじょうえんごしゃ      さいがい      はっせい      ばあい      ひつよう      じょうほう      じんそく  
「災害時要援護者とは、災害が発生した場合、必要な情報を迅速かつ  
てきかく      にゆうしゆ      さいがい      みずか      まも      あんぜん      ばしよ      ひなん  
的確に入手し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなど、  
さいがいじ      いちれん      こうどう      だいさんしゃ      しえん      ひつよう      もの      ぐたいてき  
災害時の一連の行動において第三者の支援を必要とする者で、具体的  
へいじょうじ      かいご      およ      こうどう      ほじよ      なん      しえん      ひつよう  
には、平常時から介護及び行動の補助など何らかの支援を必要とする  
こうれいしゃ      およ      しょうがいしゃ      しんたいしょうがい      ちてきしょうがい      せいしんしょうがい      はったつしょうがい  
高齢者及び障害者（身体障害、知的障害、精神障害、発達障害のある  
もの      しっぺいとう      こうどう      せいげん      もの      たいしょう  
者など）、疾病等により行動に制限のある者などを対象とする。

にんさんぶ      にゆうようじ      じどう      がいこくじん      さいがいじ      きん  
また、妊産婦、乳幼児・児童、外国人についても、災害時などの緊  
きゆうてき      じょうきょう      てだす      ひつよう      かのうせい      じょうきょう  
急的な状況において手助けが必要となる可能性があることから、状況  
たいしょう  
によって対象とする」

せんだいしちいきぼうさいけいかく      ねん      がつ  
「仙台市地域防災計画」（2016年6月）より

# さいがいたげんごしえん 災害多言語支援センターについて

だいきぼさいがいはっせいじ      ことば   しゅうかん   ちが      じょうほう にゆうしゆ  
大規模災害発生時に、言葉や習慣の違いから情報を入力し  
しえん   う      がいこくじん   たい  
にくいため支援を受けられないおそれがある外国人に対し、  
ひつよう   じょうほう   たげんごか      ていきよう   しえん  
必要な情報を多言語化して提供し支援する。

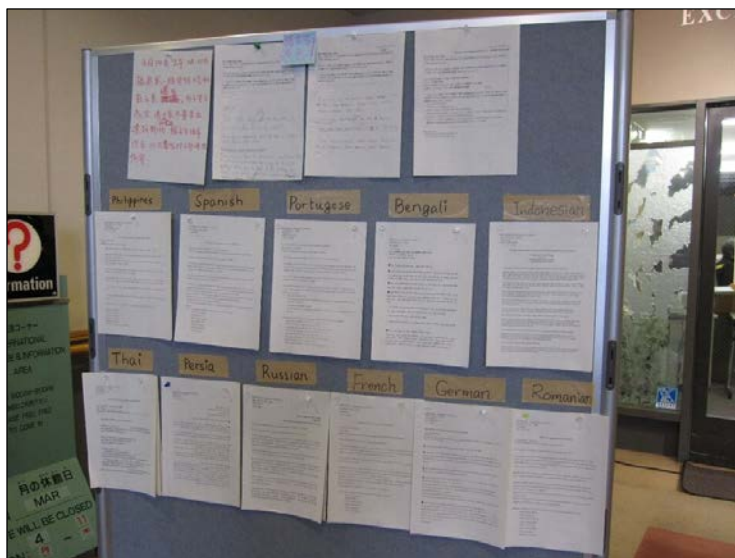
## せっちこんきよ 設置根拠

せんだいしさいがいたげんごしえん      かん      ようりよう  
仙台市災害多言語支援センターに関する要領 (2011年4月改正)

せんだいしちいきぼうさいけいかく  
仙台市地域防災計画 (2013年4月修正)

# 多言語情報提供における連携 — 広域連携

- 翻訳が難しく、比較的速報性を要しない情報は東京外国語大学、「NPOタブマネ」等の外部機関・団体に依頼
- ローカルな情報はボランティア・スタッフが翻訳



たげんごじょうほうていきょう

やくわり

# 多言語情報提供におけるコーディネーターの役割

- 「顔の見える」関係づくりを通じて、大規模災害時のようなマニュアルでは対応できない状況下においても機能するネットワークを築く





# たげんごじょうほうていきょう いぎ かだい 多言語情報提供の意義と課題

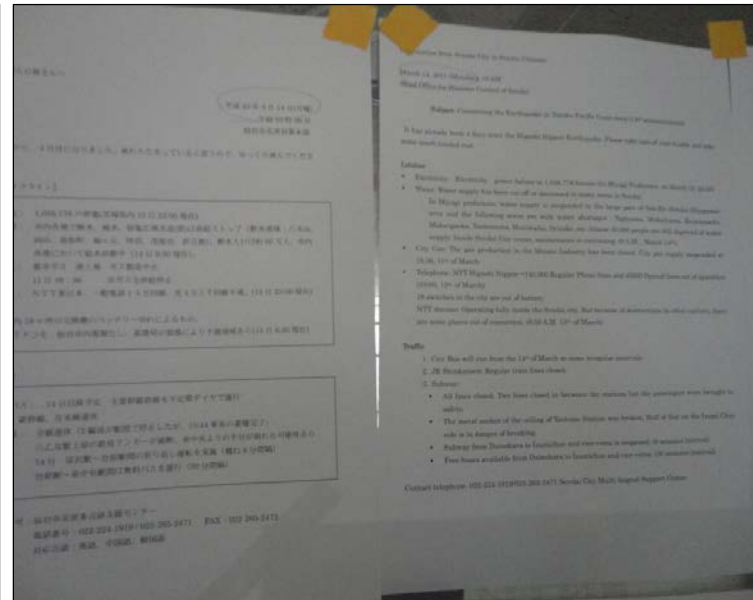
たげんごじょうほうていきょう つう あんしん とど

- 多言語情報提供を通じて「安心」を届ける

たげんごじょうほう がいこくじんひさいしゃ

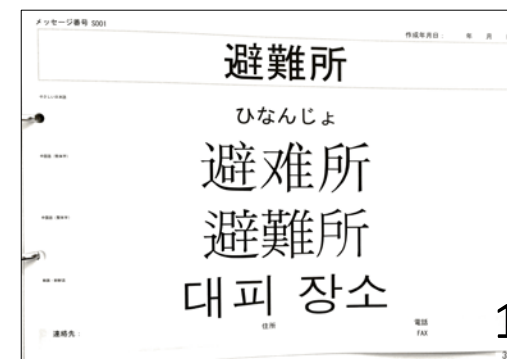
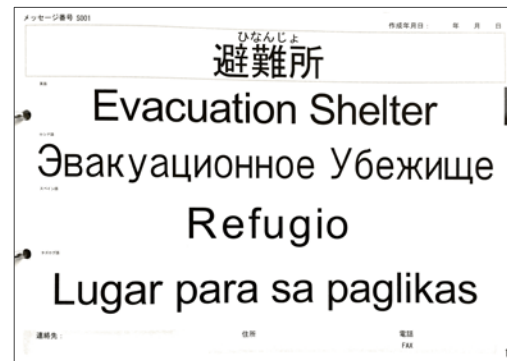
ひなんじょうんえいしゃ

- 多言語情報は外国人被災者だけではなく避難所運営者  
らにも役立った



たげんごじょうほうていきょう いぎ かだい  
多言語情報提供の意義と課題

- さいがいじたげんごひょうじ じつようれい  
● 「災害時多言語表示シート」の実用例  
しかし、 おお ひなんじょ しぞう  
多くの避難所では死蔵された



ぼうさいせいさく

やくわり

# 防災政策におけるコーディネーターの役割

じぎょう

よう

かいぜん

## (1) 事業のあり様を改善する

せんだいしさいがいじげんご

とうろくじょうきょう

### 仙台市災害時言語ボランティア登録状況

ねん がつ  
(2011年3月)

- とうろくしゃすう めい  
登録者数 71名
- げんごべつとうろくしゃすう ふくすうげんごとうろくしゃ  
言語別登録者数 (複数言語登録者あり)
  - えいご めい ちゅうごくご めい ほか げんご  
英語44名、中国語23名 (他17言語)
- しゅっしんこくべつ がいこく めい にほん めい  
出身国別 外国37名、日本34名

# ぼうさいせいさく 防災政策におけるコーディネーターの役割

## (2) しみん ぎょうせい 市民と行政をつなぐ

### たぶんかぼうさい きょうどう 「多文化防災」の協働モデルづくり

- しんさい けいけん さいがいじ がいこくじんしえん けんしょう  
震災での経験をふまえ、災害時の外国人支援を検証
- たぶんかきょうせい してん ちいきぼうさい かた たいわ  
多文化共生の視点から地域防災のあり方について対話



# ぼうさいせいさく 防災政策におけるコーディネーターの役割

## (2) しみん ぎょうせい 市民と行政をつなぐ

がいこくじんじゅうみん つく ちいきぼうさいくんれん  
外国人住民と創る地域防災訓練



# ぼうさいせいさく 防災政策におけるコーディネーターの役割

## (2) しみん ぎょうせい 市民と行政をつなぐ

私のような さいがいの 少ない 国から  
きた 人のために いい勉強になったので  
はないかと思いました。

## がいこくじんじゅうみん つく ちいきぼうさいくんれん 外国人住民と創る地域防災訓練

本当の災害では、日本人のみということはない  
でしょうから、こういう 経験は 役に 立つと  
思いました。

町内会の人々とのコ  
ミュニケーションの大切  
さを感じました。

It was very  
interesting. I'd  
never participated  
at this kind of  
event before, and  
I'm new in Japan,  
so it was very  
useful for me. I  
hope this event  
will continue years  
after years!



非常高兴能参加今天的活  
动，通过活动认识了很多  
一同参加避难训练的人。在  
活动中与灵屋下町内会的  
成员一起交流，学到了很多  
关于地震前准备的知识。  
希望下一次能参加一些实  
战训练。

# ぼうさいせいさく 防災政策におけるコーディネーターの役割

## (2) 市民と行政をつなぐ

### たげんごぼうさい          じしん          とき 多言語防災ビデオ「地震！その時どうする？」

- さいがい          そな          げんご          せつめい  
災害への備えについて12言語で説明
- せいさく          いち  
制作のプロセスもネットワークづくりとして位置づけ



事業間の縦割りを崩し  
事業間の連携を図る

事業を通じて  
人や組織とのネットワークを創る

防災啓発

災害時言語  
ボランティア  
育成

多言語支援  
センター  
準備・運営



# まとめ

- <sup>ひごろ</sup> <sup>そな</sup> <sup>さいがいじ</sup> <sup>かつよう</sup> 日頃の備えや災害時に活用できるツール
    - 災害時多言語表示シート
    - 多言語防災ビデオ「地震！その時どうする？」
    - 多言語防災パンフレット『地震から身を守るためのアドバイス』
    - 多文化防災ワークショップ
- ➔ すべてCLAIR「多文化共生ツールライブラリー」で紹介

<sup>だいきぼさいがい</sup> <sup>たいおう</sup> 大規模災害はマニュアルだけでは対応できないからこそ、  
<sup>ひごろ</sup> <sup>い</sup> <sup>しさく</sup> <sup>じぎょう</sup> 日頃からのネットワークやツールを生かして施策や事業を  
<sup>きのう</sup> <sup>やくわり</sup> <sup>ふかけつ</sup> 機能させるコーディネーターの役割が不可欠である。